



No. 7 27

発行 59年 / 月 9日

ご挨拶

新年、明けましておめでとうございます。年の初めにあたり、平素格別のお引立を賜りましたことを深謝申しあげるとともに、貴社のご発展を心から祈念申し上げます。

本年の経済見通しについては、新聞紙上などより好転しつゝあるやに伺われますが、建築関係は、昨年同様、厳しい状況が続き、一層の自助努力が必要と思われます。

特に留意しておきたいことは、日本経済が昭和29年、39年、49年と10年ごとに海外情勢の激変が原因して大不況に見舞われておることです。偶然といえるかも知れませんが、本年が10年目にあたり、いつ激変をもたらすことが発生するか、油断はできません。心に留めておき、なければ幸い、万一激動ありともあおてないで、すまようにしたいものです。

銅板条については、昨年後半よりエレクトロニクス関係の需要旺盛の影響で品薄傾向が強まり、価格も原料銅価より可成り上へきておりますが、本年も前半はこの傾向が続くものと考えられます。然し、後半の見通しについては不透明で基調変化が見られるかも知れません。

ともかく、激動の年であるとふまえて、健康に注意し、良き年にするよう自助努力を致しましょう。

最後に、本年もよろしくお引立を賜りますよう謹んでお願い申し上げます。新年のご挨拶といたします。

社長 山内 荘作

※ 1月の魁基準建値は、380円/kgです。

12月の電気銅建値は、1~31日 14月間 380円で終始しました。

1月の電気銅建値は、据置きで 380円でスタートしました。

従って 1月の魁基準建値は $(380 + 380) \div 2 = 380$ 円となりました。

価格帯は 前月同様 350円^超 ~ 400円^{以下}の欄をご覧ください。

※ 飛売三周年記念初荷セール

今月末で終了いたしますので、あと20日程しかございませんが、一層の販売促進にご協力下さいますようお願い申し上げます。



この冬は、表日本にも十数年振りの積雪が見られる等、平年より寒くきびしいようです。ストーブ、マフラーなどの防寒商品の売れ行きは、大変好調で、東京や大阪では、タイヤチェーン、長ぐつ等、問屋の倉庫が空っぽになったとか、寒さは身にこたえますが、暖冬よりは、経済面により影響が多いようで、夏物商品メーカーも強気の生産計画を進めておられる企業が多いのではないのでしょうか。間もなく立春、寒くても春は着々と近づいてきております。百花の魁「梅」の蕾もだんだんふくらんできました。今はひたすらおしんの心境でじっと耐え、来る春を待つ時だと思えます。

12月1日より1月31日迄、2ヶ月間、発売3周年記念セールに際しまして、代理店のみなさまには、多大なるご尽力を賜り、まことにありがとうございます。不都合期にも拘りませず、ほぼ所期の目標を達成できましたのはひとえにみなさまの絶大なるご支援の賜物であります。心より厚くお礼申しあげます。次回は、4～5月にスプリングセールを予定いたしておりますので、その節には一層のご協力を賜りますようお願い申しあげます。

※ 2月の魁基準建値は 371円/kg です。

1月の電気銅建値は 4日～10日 380円、11日～31日 370円で平均建値は 372円63銭でした。

2月の電気銅建値は 370円 据置きでスタートしました。

従って2月の魁基準建値は $(372.63 + 370) \div 2 = 371$ 円32銭となり、円未満切捨て 371円となりました。価格帯は前月同様、350円^起～400円以下の間があります。

※ パレット調査について ご協力のお願い

魁の大量発送及び在庫保管棚として専用パレットを作りお送りいたしておりますが、管理の都合上、使用状況について調査の上、同封ハガキで2月15日までに、ご回答下さいますようお願い申し上げます。尚、空きパレットについては、最寄りの運送便で運賃着払でご返送下さいますようお願い申し上げます。



No. 37-1

発行 59年 3月 1日

古都奈良の東大寺では、僧侶が厳しい修二会(しゆにえ)の寒行に入っております。このお水取りの行事が始まりますと春の兆しが日々濃くなってきます。三寒四温の内にやがて春のお彼岸ともなれば、本格的な春の訪れです。

今年の冬は、例年になく寒波の襲来で建築関連の動きは、不振を極め、そのためか、心理的なあせりも働いて、極端な換金価格が出て市況を崩す動きも出ております。季節の春は、めぐって来ても、好況の風の吹く処があっても、建築関連産業をめぐる環境はきびしく、生き残るためには自分の足をくう蛸の如き真似はせず、一生懸命 智恵を働かし汗を流して頑張らねばならないと思います。その一つが、素材のままの販売より附加価値をつけた商品の販売です。

我田引水ながら、銅板、銅条を魁に代えて売り込むセールスを営業社員の皆様に、ご指導下さいますようお願い申し上げます。

※ 3月の魁基準建値は 377円/kg です

2月の電気銅建値は 1~16日 370円、17~29日 380円で月平均建値は 374円28銭でした。3月の電気銅建値は据置きで 380円でスタートしました。従って 3月の魁基準建値は $(374.28 + 380) \div 2 = 377$ 円14銭となり、円未満切捨て 377円となります。

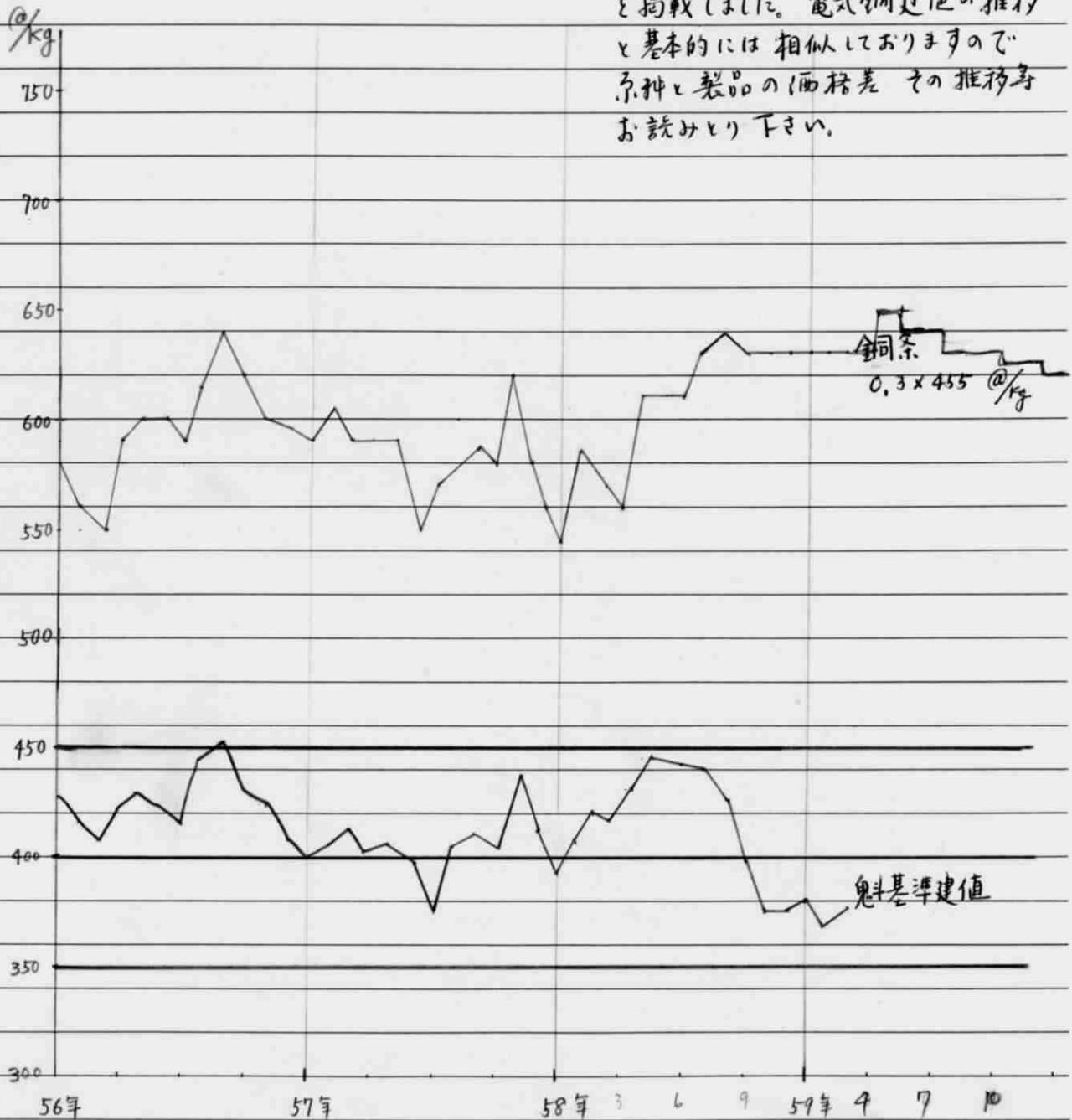
価格帯は引き続き、350円^起 ~ 400円^{以下}の欄であります。

※ パレット調査 返信用ハガキ 未提出の方へ

パレット管理のため、ご使用状況につき、回答をお寄せいただきますようお願い致しましたが、回答率 30%という低率で困っております。未提出の方は、先月号で お送りした返信用ハガキで、ご回答をお寄せ下さいますようお願い申し上げます。

銅糸の価格推移表

対比資料として 魁基準建値の推移
と掲載しました。電気銅建値の推移
と基本的には相似しておりますので
糸種と製品の価格差 その推移等
お読み取り下さい。





新鮮で潑刺とした新入社員が職場に活気を注ぐとき、ベテラン社員も初心に帰り、心機一転する刺戟を受けることは、あたかも川のよどみを流す
が如く、おのれ企業にとっては永遠の命の灯をともすため、必要なこと
あります。しかし、新入社員が仕事を覚え、戦力となる社員に成長するの
どうかは、別の話で、20:80の理論からいくと、凡そ50%の社員は可もなく
不可もなく、30%の社員は、ぶら下がり組で、足さぬばかり、残り20%の社員
が企業に貢献する戦力となっているそうであるから、新入社員を全員戦力化
することは、なかなかむづかしいことといえましょう。しかし、このむづかしいこと、
即ち、社員の能力を引き出し、戦力化させることが企業経営にとっては、最も重要な
ことでもあります。これは、今日、TQC運動を多くの企業がとり入れ、成功させていること
からも明らかであります。我々も能力の開発、人材の育成が昨今の厳しい
経済環境下における最重要課題であることを再認識し、真剣に取り
組んでいく必要があると思います。

※ 4月の魁基準建値は 391円/kg です。

3月の電気銅建値は 1~21日 380円、22~31日 390円で、月平均建値は、
385円 56銭 でした。4月の電気銅建値は 10円 上がり、400円 でスタートし
ました。従って 4月の魁基準建値は $(385.56 + 400) \div 2 = 391$ 円 66銭と
なり、月末満切り捨て 391円 となります。

価格表は引き続き 350円^超 ~ 400円^{以下} の欄をご覧ください。

※ 陽棟ハマグリ 本格発売

今般 3寸勾配から 5寸勾配まで使用可能な陽棟ハマグリを発売いたし
ます。価格は陽棟コーナーと同価格です。(価格表 18頁掲載) なお、
店頭広告用パネルを現在製作中ですので、4月下旬頃お届けいたし
ます。是非 工事店へお勧め下さいますようお願い申し上げます。



No. 2

発行 年 月 日

◆ 全板大会に出品展示

5月25日、奈良県橿原市で開催されます 第36回全国板金業者大会に
鬼の展示を行ないますので、ご高覧下さいますようお願い申し上げます。

◆ パレット返却のお願い

鬼の安全輸送のため 専用パレットを使っておりますが、回転が悪いため
不足して困っております。1ヶでも空き次第、混載便着払で送り下さい。
お手数ですが よろしく お願い申し上げます。



No. 4 /

発行 59年 5月 / 日

今年は春の訪れがおくれて、桜の開花も凡そ10日間程。いつもの年より遅くなりましたが、梅、桃、桜、こぶし、木蓮、山つばき等、一斉に咲いて、春爛漫となりました。新緑の美しいこの季節は、自然を愛するものにとって、ほんとうに嬉しい季節ですが、ゴールデンウィークは、一刻も仕事を忘れて、自然にといこよ、又とない機会です。佳いお天気に恵まれて、欲しいものです。

建築関係も需要期に入り、多少荷動きも良くなって来ようと思いますが、如何でしょうか。銅屋根は建築不振の中で、比較的落込みも少なく、物件ものも、可成り出ておるようですが、当社の営業方針として、物件ものについては、ニーズをいただきますたら、気軽に、出歩いて、商品の特徴を説明し、価格的にも、弾力的に対応して、魁を使うメリットを、工事業者に御理解いただき、商談をまとめるようにしております。

代理店の皆様には、そのような情報をできるだけ早くキャッチして、私共の方へご連絡下さいますよう、よろしくお願い申し上げます。

※ 5月の魁基準建値は 390 %kg です。

4月の電気銅建値は 1~28日迄 1ヶ月間 400 円/kg で変わらず、終始でしたが、月末に海外市況が下がり、5月の電気銅建値は、380 円/kg でスタートしました。この下がりも、中国の買い出動の噂もあり、先き行きの予想としては、もうこれ以上の下がりはなく、この辺で底を打って、再反騰も考えらるると思います。

5月の魁基準建値は、 $(400 + 380) \div 2 = 390 \%kg$ となり、前月同様、350 円^超 ~ 400 円^{以下} の欄で、この価格帯は、昨年10月以降、連続7ヶ月となり、魁の価格安定性を立証しております。

※ 陽棟ハマグリの店頭デモンストレーション用パネル配布について

先月号の魁ニュースで、ご案内はいたしており、陽棟ハマグリの店頭デモ用パネルを製作していましたが、できあがりしたので、近日中にお届けいたしますので、店頭にて掛けていただき、工事店へお勧め下さいますようお願い申し上げます。価格は陽棟コーナーと同じです。



No. 42

発行 59年 6月 / 日

南極に雨が降りました。おそらく人間が南極で継続的に生活するようになってから最初のことではないでしょうか。異常気象のニュースは、世界のあちこちから届いています。気温変化が平年より厳しいので鼻かぜがいつまでも直りませんが、年のせいでも環境変化に対する順応力が鈍ったからかと思ったりもします。

5月25日、奈良県橿原市で第26回全国板金業者大会が開催されました。当社の膝下近くの大会でしたので特に力を入れ、鬼及び宝雨の特設展示場を拵え、カタログも4,000部、来場の板金業者の方に配布いたしました。刈取りしない種蒔きはごさいませんので、代理店の皆様には刈取りのご協力をお願い申しあげます。別記の通り6月21日からサマーエンジョイセールと銘うって特別セールを企画いたしました。ちょうど良いタイミングかと存じますので、よろしくお願い申しあげます。

※ 6月の鬼基準建値は 371 円/kg です

5月の電気銅建値は、1~9日 380円、10~31日 370円で平均銅建値は、372円73銭でした。6月の電気銅建値は据置きで 370円スタートしました。従って、6月の鬼基準建値は $(372.73 + 370) \div 2 = 371$ 円 36銭となり円未満切捨て 371円となります。

価格表は ひきつぎ、350円^起 ~ 400円^{以下}の欄をご覧ください。

※ サマーエンジョイセール (6月21日 ~ 7月31日) ご案内

一昨年夏、ビヤセールを行ない、商品と景品のビヤ樽を積んに同行セールが、大きな成果をもたらしました。

今夏は、サマーエンジョイセールと名付けて鬼の振販に全社一丸となって頑張りますので、代理店の皆様には、同行セールの予定を営業活動の中に組み込んでいただき、早目に当社担当者にお申しつけ下さいますようお願い申しあげます。

セールのチラシは、6月10日前後にお届けいたしますので、ご不明の点は、当社担当者までお問い合わせ下さい。

めぐり来る四季の中で 一番嫌われるのが、今の梅雨の季節でしょう。特に蒸して気温の高い時は、じっとしていても胸苦しくなってきます。現場工事に携わる人には、仕事はほかからず、一方工期に追われストレスのたまりやすい時期だと思えます。さりとて、空梅雨で終わりますと夏の水不足や農作物に影響が及びますから、多少ふる雨も、としゃぶり雨もすべてこれ自然の恵みと感謝しておまかせせねばならないでしょう。

6月1日から11日まで、全日本板金工業組合の欧州・建築板金業界視察団に参加して、西独ハンブルク市の屋根・壁展、ドイツ・イギリス・フランスの屋根施工業中央協会と懇談、関連工事視察等、かけ足の視察旅行をいたしました。最近ではテレビでヨーロッパの情報も豊富に届き、新鮮な感動をおぼえることはありませんが、やはり現地で実際に目にしますと認識を新たにすることがかなりありました。

ヨーロッパの建築は、基本的には石造りであり、古い建物が補修されて使われており、歴史と伝統を尊ぶ国民性がよく理解されます。

耐久性を重視する思考から、当然、使用素材は肉厚のものが使用され、銅板は、 0.6mm 以上、亜鉛板は 0.7mm 以上、アルミ板は 1.2mm 以上と日本で使用されている標準厚みと比較すると、約2倍近い差があります。このように厚い素材を使用するため、金属屋根の工法は、殆んど心木なしの瓦棒構法です。北ドイツ地方では、特に銅の使用が多く、又最近増えておるそうで、雨といも、というけも日本では考えられないほど厚い材料を使っております。ファーストコストは高くても、永く大切に使うことが生活の智慧として定着しているでしょう。

日本でも銅屋根に例をとりますと、 0.3 が圧倒的に多数を占めていましたが、近年 0.35 、 0.4 の使用が増えてきて、その分 0.3 の使用が相対的に減ってきております。金属板金すべてに共通していえることですが、曲げたり叩いたり応力を加えますと、金属の結晶組織を変化させ、亀裂や剪断を発生しやすくします。銅板は比較的伸び率の高い金属ですが、応力の加わったハセ部分は、亀裂が入ってなくても、入る状態に近くなっているともいえます。銅板葺きの屋根を剥がされた板金業者の方なら、大概の人は、ハセ折りした所が裂けているのを目にしておられると思いますが、これは、昔いた時には、亀裂が入ってなくても、永い間の膨脹、収縮のくりかえしで、その部分に応力が加わって亀裂を招いたと推察されます。従って、耐久性を重視するなら、材質の選定と同時に、板厚の選定にも充分考慮を払うべきだといえます。



最近の銅板が 0.3より 0.35、0.4 と厚い物へ 移行する傾向は どのような意味から まことに 望ましいことと 設計家、施工業者、メーカー、流通業者の認識が 深まってきた 現れと思います。

※ 7月の魁基準建値は 368 円/kg です。

6月の電気銅建値は 1~20日 370円、21~30日迄 360円で 平均電気銅建値は 366円66銭でした。7月の電気銅建値は 10円上がり 370円でスタートしました。7月の魁基準建値は $(366.66 + 370) \div 2 = 368.33$ 銭となり円未満切捨て 368円となります。価格表は引き続き 350円超 ~ 400円以下の欄をご覧ください。

※ サマーエンジョイセール、ビア樽で拡販を!!

6月21日から 7月31日迄 魁拡販のため サマーエンジョイセールを行なっております。板金業者の財布の紐は、ますます固くなってきておりますが 利益率の高い商品ですから 熱意と努力で 固い紐をとかしましょう。販売員の皆さまの熱烈なる ご協力を仰ぎたく お願い申し上げます。



No. 44-1

発行 59年 8月 / 日

暑中 御見舞申し上げます。

炎暑の季節がやってきました。クーラー病や寝冷えなど 体調を崩しやすい
時季ですが、健康には 充分ご留意下さい。

民間資本をフルに活用した オリンピックが、アメリカ、ロサンゼルスで開催され
ておりますが、入場料が 400~500\$ の開値と呼んだという人気の
開会式を生中継で見られ、丁度日曜日でしたから、愉しまれた方は
多いと思います。日本チームの行進は、参加国中でも、最右翼の整然
とした行進でありましたが、他国のそれと較べますと、余りにも固苦しすぎる
ような印象を受けました。韓国や中国が日本チームよりも、会場の雰囲気
にとけこんでいる感じさえいたしました。皆さんは、如何感じられましたか。
開会式を式典とみるか、祭典とみるか、どちらでも良いのですが、祭典の雰囲気
が濃いとろへ、しちこはつに感じの行進で、これは、多分に国際性に乏しい
国民性の故にもあろうか、もう少し会場の雰囲気にとけこんだ、入場行進で
あったら、人気もでたろうにと思われました。

魁のサマーエンジョイセールは、7月末で 終了いたしました。

皆様方より、絶大なる 御支援をいただき、誠にありがとうございました。
次回は、10月21日から、12月20日迄を 予定致しております。

何卒、今後共、宜敷く、ご支援、ご協力を賜われますよう、お願い申し
あげます。

建材用銅板、条の市況は、昨年来より、堅調に推移してきておりますが、こ
から、秋口、年末にかけて、どうなるのでしょうか。

原料銅市況は、国際商品が、全般に、低迷しております。現況では、当面、大きな
変化はないと思われ、一方、メーカーは、ひもつき需要が、一時ほどのひびく
状況が、やゝ、緩和されてきた感はありますが、相変わらず、基調としては、好調
で、ひもつき優先、建材向けは、量を絞るという傾向に、変化をみせておりません。

建築関係は、好調時と比べれば、決して、良くありませんが、やゝ動きが
出てきた所もあり、秋口、需要がある程度、期待できる可能性もありますので、
銅板、条の市況が、崩れる可能性は、少なく、むしろ品薄状況が、今暫らく
続くと思われ、



No. 44-2

発行 59年 8月 / 日

※ 8月の魁基準建値は 370円/kgです。

7月の電気銅建値は 370円で 終始いたしました。

8月の電気銅建値は 据置きで 370円で スタートしましたので 今月の魁基準建値は $(370 + 370) \div 2 = 370$ 円 で 価格帯は 350円^超 ~ 400円^{以下} で 変らずであります。



九月に入っても、連日 猛暑が続いておりますが、今日の朝刊で世界的な異常気象が報じられていました。昨夏の日本は、冷夏で多雨に悩まされましたが、今年の米国東部や東欧がそのように、30年に一度といえるほどの異常気象は、世界のあちこちで、悲喜様々な影響を与えておることでしょう。日本では、今年の異常に長い夏は、記録的な豊作をもたらし、農家の懐をうるおしてくれそうだし、季節商品は、倉庫が空っぽになるほど売りつくされたということで、景気には、嬉しい影響を及ぼすようです。

「景気が良くなった」といいますが、肌で感じておられる方は、案外少ないのではないのでしょうか。通産局の7月の生産指数(速報値)でも、100(55年)を下回る業種が沢山顔を出しており、鉄鋼業が97.9、輸送機械(自動車)91.8、繊維工業が90.6、木材・木製品に至っては、74.1と55年を30%近く下回る境遇に置かれており、それだけで、産業総合が123という高い水準にあるということは、電気機械器具が198.7で、不振の業種をまとめて面倒を見ている由縁であると考えられます。

産業地図において、このようなバラツキのあることが、景況の大きな特徴になっていますが、これを一つの業種で見ただけの場合も、企業間のバラツキが大きくなってきていることが、現在の姿であるといえます。

高度に発達した資本主義社会に見る資本の集中化、大企業に、人も物も金も集中していくのを、ひしひし感じる、今日此項です。すき間が段々少なくなってくる、又あってもせまくなってくる。巨大なものが、ひしめく中の、僅かなすき間にあって、残るためには、極小であるか、柔らかいか、どちらかの特性が必要で、中途半端に大きかったり、固くて空間の変化に対応できないものは、はじきとばされてしまいます。極小とか、柔らかいということが、どういふことなのか、よく考え、自らの企業をチェックして見ようと思います。

♀ 9月の魁基準建値は 370円/kgです。

8月の電気銅建値は 370円で、終始いたしました。9月の電気銅建値も据置きでスタートしましたので、今月の魁基準建値は $(370 + 370) \div 2 = 370$ 円です。前月同様 350円^起 ~ 400円^{以下}で、昨年10月以降変わらずであります。



No. 45-2

発行 59年 9月 4日

※ 三宅の緑青銅板 パチナI, パチナII を在庫販売

最も安定した色調で好評の三宅伸銅の緑青銅板を在庫販売いたします。
パチナIは明るい色調で、パチナIIは落ち着いた色調です。I型、II型共、
在庫サイズは下記の通りです。

0.3 × 365 × 1212

0.35 × 365 × 1212

0.3 × 455 × 1212

0.35 × 455 × 1212

0.3 × 606 × 1212

0.35 × 606 × 1212

価格表 カットサンプルを各3部宛同封お送り申し上げますので 営業部員
の皆様にご紹介下さり 精々ご用命賜りますようお願い申し上げます。

尚、魁のパチナ価格は追ってご案内申し上げますので 今暫らくご猶予
下さいますようお願い申し上げます。

同封 ご案内の1アールについては、価格表がありませんので 当社担当員
へご照会下さるよう併せてお願い申し上げます。

爽秋の候となりました。文字通り さあやかな好天に恵まれ、お子様の運動会やご家族揃ってのハイキングあるいはゴルフ等、屋外でのレクリエーションに休日を満喫されたことと存じます。車に頼ることの多くなった生活で忘れてしまっていた体力の低下に、啞然とされた方は、いらしゃいませんか。以前はもとうまくやれたのに、こんなに早くバテたりしなかったのにという経験をされた方は多勢おられることと思います。身体を動かすこと、機会が少なくなった人は運動不足による体力低下が年齢と共に加速しますから、運動することを意識して努めないと、肉体の老化が著しく進行します。手近にできることで、自己の体力にあったものを毎日続けることで、体力低下を最少限に抑えるようにすることが、お金では買えない健康を得るために最も大切なことと思います。

健康の話といえは、企業健康も大変重要なこととあります。企業をとりまく環境は、まことに厳しく、激しい生存競争の中で生き残っていくことを要求されます。貸し倒れが発生すれば、軽い風邪や食当りですまらず強烈なバイ菌で、即刻入院治療をしなければならなくなったり、時には共に、地獄行きの運命に逢うことも考えられます。企業内を見ても、体内の全器官が故障なくフルに稼働しているだろうか、消化不良を起こしたり糖尿病になっていないだろうか、雑菌が増えて体調を崩していないだろうか。企業の健康状態を良好に保つことは、仲々むづかしいことですが、我々経営者に課せられた最重要な課題であり、責務であります。

いつも、その中であつて見ていると、慣れて気がつかなくなったり、こんなものだと思ひ違いをしてしまいがちですが、それを防いには、適切な才三者（たとえば顧問税理士とか経営コンサルタント）の診察をうけることも必要なことではないでしょうか。

皆様のご健康と会社の益々のご繁栄をお祈り申しあげます。

とくとくセールのご案内

秋の需要期にあてて、魁のキャンペーンセールを10月21日より11月20日迄の2ヶ月間行ないます。

ユーザーの皆さまには、売上増大・利益向上に寄与されるように、魁を使うメリットを訴え、又買入額に応じて、バラエティーに富んだ景品の中から、お好みの物を選択いただき、二度のお得を味わっていただくという思いから、いささか舌たらずではありますが、「とくとくセール」と名づけました。建築全般に低調とはいえ、需要期には、努力次第で好成績をあげることも可能と信じます。当社営業部員も全員が張り切っております。代理店の皆さまと一緒にセール期間中だけでなく、セール期間前からでも、同行セールのさせていただきたいと存じますので、ご用命下さいますようお願い申し上げます。

すでにチラシは、お手許へお届けするべく進行中、店頭ポスターは、10月10日前後お届けできると存じます。

お手許に届きましたチラシは、貴社営業部員の皆様に既に魁を使っておられるユーザーは勿論のこと、見込みのある未使用のユーザーさんへも早目に届けるよう、督促下さいますようお願い申し上げます。代理店の皆さまの絶大なるご支援、ご協力を謹んでお願い申し上げます。

10月 魁基準建値は 263円/kgです。

9月の電気銅建値は、1~18日 270円、19~29日 260円で、月平均電気銅建値は 266円22銭でした。10月の電気銅建値は、260円据置きでスタートしました。従って10月の魁基準建値は、 $(266.22 + 260) \div 2 = 263$ 円16銭で、円未満切捨て 263円となりました。

10月の魁価格は、250円^超~400円^{以下}で、この価格帯は、昨年の10月以来13ヶ月連続となります。



足早な冬の気配を感じる朝夕の冷えこみに 風邪をひかれた方も かなり居られるようですが、みなさまは、如何でございますか。時の流れは、余りにも早く 本年も あと 60日余を 残すのみとなりました。

今日の話題は、何といても、新紙幣登場のことでしょう。最高の技術で模倣が不可能に近いといわれているようですが、表面を飾る人物が変り ちよびり小型になった 新札を手にされた ご感想は如何ですか。盲人の方にも識別しやすいように 凹状のマークをつけたことは、目の不自由な方には、大変便利で良いくばりだと思えます。私達にとって 永く 親しんだ 聖徳太子が 消えてゆくのは、ちよびり寂しいことですが、五萬円札の 十万円札に 再び 登場になるのは、必至で 暫らく お休みに なられるだけという 噂もありますね。そうなる と 何となく 金の値打ちがなくなる インフレを 想おせますから、聖徳太子様には、精々 ごゆくり おやすみ いただくのが、何よりでしょう。

✧ 11月の魁基準建値は 365円/kg です

10月の電気銅建値は 1~31日 360円で 終始しました。11月の電気銅建値は 10円上がり 370円で スタートしました。従って 11月の魁基準建値は、 $(360+370) \div 2 = 365$ 円となりました。

11月の魁価格は 350円^超 ~ 400円^{以下}の 価格帯で 10月同様 変わりません。

✧ とく、とく セール 販売活動促進のお願い

先月の魁ニュースで ご案内 お願い申しあげました通り 10月21日より 2ヶ月間の キャンペーンセールに入りました。この期間は、継続して お使いいただいている 需要家への販売以上に、これまで 使っていない 未使用の需要家には是非 魁を試しに 使っていただくよう お勧め 願いたいのです。それには、景品を商品と一諸に お届けすることも 効果のある方法と 考えられますので、10点 20点 クラスの景品を それに ご活用下さい。ご要望が ございましたら、早速 景品をお送りいたします。この機会に 継続使用 需要家の拡大につながるような 販売活動を 何卒 よろしく お願い 申しあげます。



No. 4-1

発行 59年 12月 1日

早師走。過ぎてみるとなんと1年の短かく感じられることでしょう。それは、年をとた証拠だと いわれれば、それまでですが……。まことに変化の激しい時代、まさしく産業革命の真只中であることを切実に実感した一年であります。11月30日から、東京、京阪神で、キャプテン（文字、図形情報ネットワーク）サービスがスタートしましたが、5月の衛生放送開始、9月には、東京の武蔵野・三鷹地区でのINS（高度情報通信システム）の実験開始、11月27日から国際電子郵便がスタートする等、まさに、ニューメディア時代の幕が切って落されました。郵便はがきがスタートしたのは、明治6年12月1日だそうですが、おすか、一世紀余をへて、そのはがきが今、東京-ニューヨーク間の翌日配達を現実のものにしているのです。

私共のオフィスでは、今、ファクシミリが正確で迅速な情報伝達の手段として大変重要になっていますが、ニューメディアは普及度が一定のレベルを越えたとき、それは一層高まり新しいニーズを呼び、ニュービジネスが生まれ、そこに様々な変化をもたらします。今まさに新しい時代への緒についたところ、まさしくニューメディア元年というにふさわしい年であったと思います。この時代に生きる人間にとって、アンチニューメディアなどと横を向いては、おすかなくなってきました。まして、ビジネスマンにとっては、苦手だといって片付けてしまうことが、許されなくなってきた感じがいたします。

♪とくとくセル あと20日。

10月21日より 始まりました とくとくセルは、今月の20日で終わります。

2ヶ月間は いささか 長く 中だるみになりがちですが、残すところあとおすかは、かりになりました。一層の拍車をかけて 販売にご協力賜りますようお願い申し上げます。



No. 402

発行 59年 12月 / 日

※ 12月の魁基準建値は 370円/kg です

11月の電気銅建値は 1~31日 370円で終始しました。12月の電気銅建値も据置きで 370円でスタートしました。従って12月の魁基準建値は $(370 + 370) \div 2 = 370$ 円となりました。魁価格は 350円^超 ~ 400円^{以下}の価格帯でこの価格帯は 59年1年間 不変で極めて安定した推移の1年間でありました。

この1年 たいへん お世話になり 格別のご愛顧を賜わり 紙上より厚くお礼申しあげます。どうか 来年もよろしくお願ひ申しあげます。

最後に 貴社の益々の御繁栄、ならびに 社長様はじめ 社員の皆様のご健康とご多幸を お祈り申しあげます。